

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

令和01年12月16日

計画の名称	公共下水道の浸水対策重点計画（防災・安全）												
計画の期間	令和02年度～令和06年度（5年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	富士宮市												
計画の目標	市内下水道管渠（雨水）を整備することにより、公共水域の水質保全、浸水対策を促進し、住みよく快適なまちづくりを目指す。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	513	A	513	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (R2当初)	中間目標値 (R4末)	最終目標値 (R6末)
1	公共下水道管渠（雨水）新設工事を行うことにより、当初整備済面積 8.70haから目標整備済面積 10.93haに拡張し、整備率を39%以上にして、浸水被害を最小限に留める。 下川第3排水区整備率 整備済面積 / 計画整備面積 39% = 10.93ha / 28.00ha × 100	31%	39%	39%
2	公共下水道管渠（雨水）新設工事を行うことにより、当初整備済面積 8.75haから目標整備済面積 9.15haに拡張し、整備率を15%以上にして、浸水被害を最小限に留める。 弓沢川右岸第6排水区整備率 整備済面積 / 計画整備面積 15% = 9.15ha / 62.16ha × 100	14%	15%	15%
3	公共下水道事業（雨水）の浸水シミュレーションを行うことにより、当初評価面積 0.0haから目標評価面積 209.98haに拡張し、評価率を9%以上にして、地区ごとの浸水リスクを評価する。 市街化区域評価率 評価済面積 / 計画評価面積 9% = 209.98ha / 2304.7ha × 100	0%	3%	9%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	○	避難行動要支援者名簿の提供	○
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---	---------------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R02	R03	R04	R05	R06			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-001	下水道	一般	富士宮市	直接	富士宮市	管渠(雨水)	新設	下川第3排水区管渠整備(浸水対策)	予定整備面積 2.23ha	富士宮市						293	-	
	A07-002	下水道	一般	富士宮市	直接	富士宮市	管渠(雨水)	新設	弓沢川右岸第6排水区管渠整備(浸水対策)	予定整備面積 0.40ha	富士宮市						100	-	
	A07-003	下水道	一般	富士宮市	直接	富士宮市	管渠(雨水)	新設	内水浸水リスクマネジメント(浸水対策)	浸水シミュレーション 209.98ha	富士宮市						120	-	
												小計						513	
												合計						513	

事前評価チェックシート

計画の名称： 公共下水道の浸水対策重点計画（防災・安全）

事前評価		チェック欄
I. 目標の妥当性		
上位計画等との整合性	1) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性		
地域の課題への対応	1) 地域の課題を踏まえて整備計画の目標を設定している。	○
II. 計画の効果・効率性		
目標と定量的指標の整合性等	1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性		
目標と定量的指標の整合性等	2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性		
目標と定量的指標の整合性等	3) 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性		
目標と定量的指標の整合性等	4) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性		
事業の効果	1) 十分な事業効果が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性		
事業の効果	2) 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性		
地元の機運	1) まちづくりに向けた機運がある。	○
III. 計画の実現可能性		
地元の機運	2) 住民・民間事業者等と協力して計画を策定している。	○
III. 計画の実現可能性		
円滑な事業執行の環境	1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
III. 計画の実現可能性		
円滑な事業執行の環境	2) 交付期間中の計画管理(モニタリング)を実施する予定である。	○
III. 計画の実現可能性		
円滑な事業執行の環境	3) 計画について住民等との間で合意が形成されている。	○

参考図面

